※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次 （普通科）
使用教科書	新編　数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	教科書傍用　３ＴＲＩＡＬ　数学Ｉ＋Ａ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、教科書を用いて基本内容の解説および練習問題に取り組みます。
・受け身の学習ではなく、自ら考えるとともに、協働して考えることを意欲的にしてください。
・練習問題に取り組む中で、自らの考えを板書や発表により発信する場面も設けます。
・わからない内容は決してそのままにせず、理解して終える習慣を定着させましょう。
・家庭学習における課題には、ぜひ周りの人と一緒に考えて取り組みましょう。
・定期考査時や長期休暇時は問題集を課題として与え、そのノートを提出してもらいます。提出日に対して余裕を持って取り組み、大事な点をまとめたり途中式を丁寧に記述することを意識してみましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数 集合の要素の個数 場合の数 順列 組合わせ	a：集合の要素の個数に関する基礎的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 具体的な事象を基に順列や組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b：事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 c：事象を場合の数の考えを利用して考察するよさを自認し、問題解決にそれらを用いようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
2学期		第2節　確率 事象と確率 確率の基本性質 独立な試行と確率 条件付き確率 期待値	a：確率の意味や基礎的法則についての理解を深め、それらを利用して事象の確率や期待値を求めることができる。 独立な試行について理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 条件付き確率について理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 b：確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 確率の性質などを利用して事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に用いたりすることができる。 c：事象を確率の考えを用いて考察するよさを自認し、問題解決にそれらを用いようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

※令和４年度以降入学生用

	第2章　図形の性質	第1節　平面図形 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理・メネラウスの定理 円に内接する四角形 円と直線 2つの円	a：三角形に関する基礎的な性質について理解している。 円に関する基礎的な性質について理解している。 b：図形の構成要素間の関係や既習の図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 c：事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを自認し、問題解決にそれらを利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表
3学期	第3章　数学と人間の活動	約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数・最小公倍数 整数の割り算 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 記数法 座標の考え方	a：数量や図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて理解している。 b：数量や図形に関する概念などを、関心に基づき発展させ考察することができる。 c：人間の活動における数学のよさを自認し、様々な場面で数学を利用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 問題集ノート 課題プリント 発表	 観察 問題集ノート 課題プリント 振り返りシート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度